



令和 7 年 10 月 31 日

**第 12 回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」
授賞式と記念講演会の開催（11/19 開催）
～被爆体験の継承と平和への貢献に尽力された小倉桂子氏を顕彰～**

広島大学は、ワークライフバランスのための環境整備や女性研究者の研究力強化、より革新的・学際的な活動をサポートすることなどを目的として、女性研究者の支援に積極的に取り組んでまいりました。

平成 25 年には、本取り組みの一環として、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を創設しました。

賞名の由来は、フェニックスと並んで広島大学のシンボリックな存在であるメタセコイアの樹木のように、女性が個性と能力を存分に発揮し、世界中で力強く活躍することに願いを込めたものです。

被爆 80 年となる今年、第 12 回の受賞者として、被爆の実相を世界中の人に伝える強い信念をもって、長年にわたりご自身の被爆体験を英語で伝える活動を続けてこられたことなどが評価され、被爆体験証言者で「平和のためのヒロシマ通訳者グループ」代表の小倉桂子氏に授与することを決定しました。

この度、受賞者である小倉桂子氏をお招きし、第 12 回授賞式及び記念講演会を以下のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

【受賞者】

被爆体験証言者・平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表 小倉桂子氏

【日時】

令和 7 年 11 月 19 日（水）14 時 00 分～15 時 15 分

授 賞 式：14 時 00 分～14 時 20 分

記念講演会：14 時 20 分～15 時 15 分

【開催方法】

オンラインによるライブ配信

※当日取材をご希望の報道機関の方は、事前に下記のお問い合わせ先へご連絡ください。会場は、広島大学東広島キャンパス法人本部棟 5F1 会議室となります。

【申込方法】

以下 URL より必要事項を入力の上、お申込みください。

<https://forms.office.com/r/AqxCYOeuBt>

【申込締切】

令和 7 年 1 1 月 1 4 日（金）

【定員】

なし

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 学術・社会連携支援部 研究推進グループ 上代（じょうだい） TEL:082-424-5289 FAX:082-424-6189
--



第12回 広島大学女性活躍促進賞 「メタセコイア賞」



授賞式・記念講演会

令和7年**11月19日**(水) 14:00~15:15
(授賞式/14:00~ 講演会/14:20~)

オンライン
開催

広島大学では、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、平成25年度から表彰を行っています。

受賞者

被爆体験証言者
平和のためのヒロシマ通訳者グループ 代表

小倉 桂子 氏



<受賞者略歴>

1937年生まれ。8才の時に爆心地より2.4キロの広島市牛田町で被爆。1959年広島女学院大学英文学部卒業。広島平和記念資料館の館長を務めた夫を1979年に亡くし、その後を継ぐように、海外から広島を訪れる作家、ジャーナリスト、平和運動家などの通訳、コーディネート始める。1984年「平和のためのヒロシマ通訳者グループ」(HIP)を設立、被爆の実相を英語で世界に語り継ぐ活動を続けてきた。2005年広島市民賞(HIP)、2013年第25回谷本清平和賞を受賞。近年では、2023年の広島G7サミットで各国首脳へ自らの被爆体験を証言したほか、2024年にノルウェー・オスロで開催された日本被団協のノーベル平和賞受賞を記念したフォーラムでも被爆体験を証言した。

お申込みは
こちらから

※要事前申込



以下のURLからもお申込みいただけます。

<https://forms.office.com/r/AqxCY0euBt>

お申込期限
11月14日(金)

これまでの受賞者

第1回	平成25年度 (2013)	公益財団法人広島男女共同参画財団(エソール広島) 理事長 長尾 ひろみ 氏
第2回	平成26年度 (2014)	イクメン企業同盟ヒロシマ (代表:湯崎 英彦 広島県知事)
第3回	平成27年度 (2015)	広島ガス・アルペンスノーボード選手 竹内 智香 氏
第4回	平成28年度 (2016)	独立行政法人 酒類総合研究所 理事長 後藤 奈美 氏
第5回	平成29年度 (2017)	福山大学 学長 松田 文子 氏
第6回	平成30年度 (2018)	俳人・エッセイスト 夏井 いつき 氏
第7回	令和元年度 (2019)	キャスター 国谷 裕子 氏
第8回	令和2年度 (2020)	株式会社今田酒造本店・代表取締役・杜氏 今田 美穂 氏
第9回	令和3年度 (2021)	オペラ歌手・広島大学客員教授 中丸 三千繪 氏
第10回	令和4年度 (2022)	株式会社メンテックワールド代表取締役 小松 節子 氏
第11回	令和5年度 (2023)	東北大学名誉教授 原山 優子 氏



高校生・受験生の方

広大へ留学希望の方

一般・地域の方

企業・研究者の方

卒業生の方

保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活
・就職

研究

社会・産学連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

[Home](#) > [大学案内](#) > [キャンパスぶらり散歩](#) > [広島大学の象徴となる樹木](#)

理念・ビジョン

広島大学長

アイデンティティ

中期目標・中期計画・年度
計画・実績報告書

大学概要

統合報告書・ファクトブ
ック

主要会議

受章・表彰

本学の取り組み

自己点検・評価

公表情報

情報公開制度・公文書管
理・個人情報保護

法令順守への取り組み

入札情報等

ネーミングライツ

兼業依頼

出張依頼

共催・後援等名義使用申請

校友会・同窓会

キャンパス見学のお問い合
わせ・申し込み先

キャンパスぶらり散歩

オンラインキャンパスツア
ー

キャンパスカメラ

ここがええね！広大

[English](#) >

広島大学の象徴となる樹木

フェニックス（ヤシ科）Phoenix canariensis



フェニックス前で記念撮影する

森戸初代学長



移転前の東千田キャンパス

正門前のフェニックス



東広島キャンパス国際の森の

コモ巻きをしたフェニックス

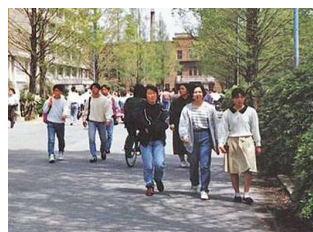
別名、カナリーヤシとも呼ばれるカナリア諸島原産の常緑高木。

ギリシャ神話に出てくる「フェニックス」（不死鳥、自分の身を焼いて再び灰の中から生き返るといわれ、日毎に沈んでは昇る太陽の象徴でもある）にあやかって、この木を原爆の廃墟から再生する新広島大学のシンボルとしました。学章のデザインにもその葉が図案化されて用いられています。

戦後、ウェスレイアン大学（米国）からの寄付金により購入された苗木は、東千田キャンパスの正面前入口道路の左右にそれぞれ3本ずつ植えられ、半世紀以上たった今も東千田の地に残っている広島大学の正門前にて成長を続けています。

東広島キャンパスでは、新たに購入された株が中央図書館南の国際の森に植えられています。フェニックスは比較的寒さには強い木ですが、冬季は、むしろを用いたコモ巻きを行って寒さ対策を行っています。

メタセコイア（スギ科）Metasequoia glyptostroboides



東千田キャンパスの

森戸道路のにぎわい



東広島キャンパスに育つ

メタセコイア



メタセコイアは、世界で最初に日本で化石として発見されましたが、1945年に中国四川省、湖北省に自生していることが判明し、世界が驚いたといういわれのある木です。その後、現地を調査した米国の植物学者が持ち帰った種子から養成した苗木が世界の各国に配布され、日本にも1949年頃渡来しています。

東千田キャンパスにおいて大学のメインストリートの街路樹を何にするかを論議した際、かつて日本にも育ち、中国に生き残り、米国で育成された、日本的でしかも国際的なメタセコイアが選ばれました。「森戸道路」と呼ばれて親しまれたメインストリートのメタセコイア並木は、フェニックスについて広島大学のシンボリックな存在でした。

大学移転と共にキャンパスの建物のほとんどは取り壊されましたが、メタセコイア並木の一部は東千田公園として残され、当時の面影を今でも伝えています。

移転前、東千田キャンパスの理学部植物園に植えられていたメタセコイアのうちの2本が東広島キャンパスに移植されました。



[サイトマップ](#) |

[交通アクセス](#) |

[お問い合わせ](#)

[高校生・受験生の方](#)
[広大へ留学希望の方](#)
[一般・地域の方](#)
[企業・研究者の方](#)
[卒業生の方](#)
[保護者の方](#)

[大学案内](#)
[入試情報](#)
[教育・学生生活](#)
[研究](#)
[社会・産学連携](#)
[留学・国際交流](#)
[学部・大学院等](#)
[研究所・施設等](#)

[広報・報道](#)
[採用情報](#)
[校友会・同窓会](#)
[広島大学基金](#)
[教育研究支援財団](#)
[図書館・博物館等](#)
[大学病院](#)
[附属学校](#)

[サイトポリシー](#)

[プライバシーポリシー](#)

Copyright © 2003- 広島大学